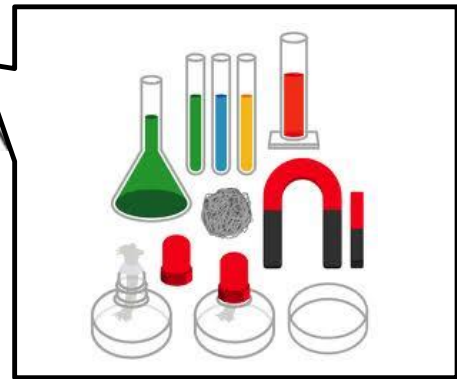
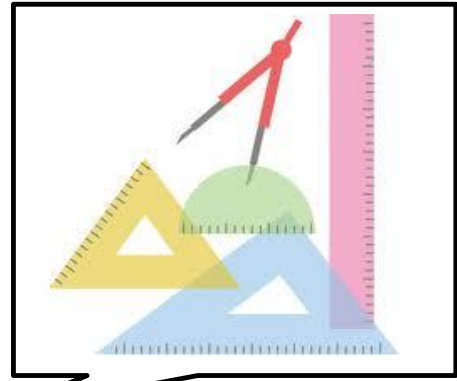
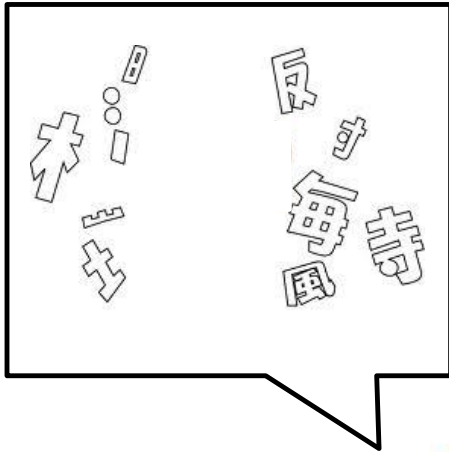


家庭学習の手引き

～自ら学ぶことを見つけ、解決する力を育てるために～



あいさつ

準備

思いやり

北広島市立 北の台小学校

令和8年度 北の台小の学習について

◎1～5年生は漢字ドリルを購入し、読み書きをドリルで練習しています。6年生はデジタルドリルを中心に漢字の読み書きの定着をはかっています。定期的に取り組みの小テストを行い、定着をはかっています。

◎ミライシードを全学年で導入しています。

デジタルドリルとは、chromebook(一人一台端末)でできる学習ドリルです。本校では、「ミライシード」を購入し、国語、算数、理科、社会、外国語の基礎学習ができるようになっています。AIドリルにより、自分にあった学習を進めることができます。

学校では教科の学習の中で、紙のドリルとデジタルのドリルの両方を併用しています。端末を活用して学習効果を高めていくことは、これからの時代の学びに欠かせないものとなっています。一方で、従来通り繰り返し紙と鉛筆で計算したり、漢字を書いたりする学習も、学校では大切にしたいと考えています。



1 家庭学習の意義

家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが反復練習によって「できる」という自信に変わります。

② 脳の活性化

「読み」「書き」「計算」を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

③ 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。少しずつでも「継続」することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④ がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵はゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより「がまん強さ」「根気」「集中力」を養うことができます。ゲームなどの時間を決めて学習の時間を確保しましょう。そのために、テレビを消す、みんなで読書するなど家族の協力が必要です。

⑤ 家族のふれあい

「本を読む時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、一緒に調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションをはかることができます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定にもつながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

2 家庭学習のポイント（保護者へのお願い）

子どもだけでなく、保護者の姿勢によって家庭学習の効果はより発揮されます。子どものやる気を引き出すようなはたらきかけをお願いします。

① 決まった時刻に毎日こつこつ学習する

家庭学習はとにかく毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあるかと思いますが、その場合は学習を先に済ませたり、テレビやゲームの時間を無くするなどして学習する時間を生み出すことも必要となります。ご家庭で十分話し合ってください。

② 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して学習することが長続きのこつです。「10分×学年+α」を目安にして集中して取り組むことを心がけてください。

③ 「ながら勉強」をやめる～学習環境を整える

テレビを見ながら、おやつを食べながら、音楽を聴きながらといった「ながら勉強」は厳禁です。ご家庭で約束事を決め、時間を決めるなど工夫・協力して、静かに学習できる環境をつくってあげることも親の役目です。

④ 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机にむかって、背すじを伸ばしたよい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど気が散るものが近くにあっては集中できません。大人の目が行き届き、子どもが落ち着いて学習できる環境づくりが大切です。低学年はリビングで勉強させるのもいいでしょう。

⑤ 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

保護者や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。つつい親は口がうるさくなりがちですが、強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。

⑥ 学力アップは規則正しい生活から

「早寝、早起き、朝ご飯」は生活リズムの大原則です。生活のリズムを整えることが学力向上につながることは、調査でも明らかになっています。学校でも家庭でも元気に学習に取り組めるように、生活リズムを整えましょう。それぞれの家庭の事情はあるかもしれませんが、小学生は高学年でも8時間以上の睡眠はぜひ確保したいものです。

3 家庭学習とは

- ◎宿題・・・ 「担任」の先生から出される課題です。主に「読む」・「書く」・「計算する」などの基礎学力を身につけることをめざします。
- ◎自主学习・・・ 「自分」で課題を見つけ、取り組む学習です。「追究する力」や「思考力」、「表現力」など社会人として必要な力が身に付きま

4 家庭学習で身につく力

基礎学力が確実に身につくだけでなく、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」だけでなく、見えない学力（「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」）となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日コツコツと努力する繰り返しの中で身につけていきます。

5 家庭学習の方法

- ① 担任から出された「宿題」があれば最初に取り組ませましょう。
- ② 時間が余ったら次ページの「家庭学習例」を参考にして、「家庭学習ノート」づくりに取り組ませましょう。
- ③ 低学年でどうしても勉強に飽きてしまうときは、読書でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。鉛筆を削り、授業準備をしっかりとすませて、明日の学習予定を頭に入れておくよう心がけてください。

☆大人も一緒に学ぶ姿勢を

学習を「させる」習慣を身につけるためには、環境づくりが欠かせません。できるならば子どもと一緒に大人も読書するなど、「一緒に学んでいる」時間をつくるとよいでしょう。それができない場合は、学習時間中は静かな環境をつくること、また学習後に頑張りをほめるなど、やらせっぱなしにせず、子どもの学習に関心をよせることが大切です。



6 自主学習例

※デジタルドリルも有効活用しましょう。

| 国語 | 算数 | 社会・理科・総合 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字練習 ・ デジタルドリル ・ 意味調べ ・ 日記 ・ 音読・視写 ・ テストのやり直し | <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算練習 ・ デジタルドリル ・ 教科書の問題 ・ 百ます計算 ・ テストのやり直し ・ 自作問題を解く | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容や関連した興味のある内容を本や地図、ホームページ等の資料で調べてまとめる。 ・ 授業で学習したことをノートにイラストなどを用いてまとめる。 ・ デジタルドリル |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書、音読をしましょう。音読は力を高めます。 ・ 国語辞典や漢字辞典、その他図鑑をたくさん使いましょう。 ・ 地図、図鑑などの本や資料を使って調べましょう。 ・ 新聞や読み物の感想をまとめましょう。 ・ 自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。 ・ 自分で問題を作ってみましょう。 | |



☆インターネットを使った学習

わからないことを調べる手段として、インターネットも活用できます。これからの社会を生きていくうえで、ネットの活用が不可欠であることは言うまでもありません。ただし、なんでもネットに頼ってしまいすぎると、自分で考える力を十分に伸ばしていくことができません。時には試行錯誤し、自分で考えながら答えを導き出す経験も大切にしながら、学習経験を積ませたいものです。

低学年

学習時間の目安

1年生 10分+ α

2年生 20分+ α

■こんな時期です

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

◇大人といっしょに学習して、意欲を高めて学習に向かう◇

いっしょに、学習内容ややり方を決めましょう。
できたことをほめることで、意欲が高まります。



ポイント

①子どもの学習に関心を!

「家でも勉強する」という習慣をつけましょう。

- ・少ない時間でもいっしょにやる。
- ・いっしょにできないときは、後で目を通す。

②学習環境について

「いつも決まった学習場所」をつくりましょう。

- ・自分の学習机、あるいは居間で目の届く場所など「決まった場所」をつくる。
- ・ながら勉強は禁止。

③家庭と学校の協力

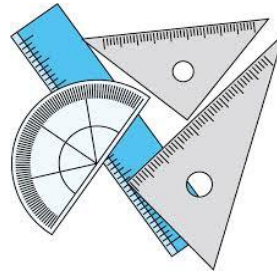
学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう。

- ・宿題の有無や翌日の準備など、一つ一つ確認しながら一緒に行く。
- ・最初は大人が主導する。

学年で身につけたい力

チャレンジの1年生

- ・鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ・ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ・助詞「てにをは」を使い分けて文章を書く。
- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・たし算やひき算が手順に沿って正確にできる。



習慣づけの2年生

- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・順序よく話ができる。
- ・九九がすらすら言える。たし算、ひき算、かけ算が速くできる。
- ・定規を使って筆算をきれいに書きながら、計算できる。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ・アナログ時計を見て何時何分か読むことができる。時刻と時間を区別して表現できる。



1ねんせいのかていがくしゅうについて

いえのひとといっしょによみましょう。

3がっきからはじまります。1、2が

もくひょう

- いえにかえたらすぐにしゅくだいをしましょう。
- しゅくだいがおわったら、したのかていがくしゅうをしてみましょう。
- まいにち10ぷんいじょうはがんばってがくしゅうしましょう。
- てれびをみないでやりましょう。

かていがくしゅうのまえに

- ☆がっこうからのおてがみは、おうちのひとにわたしましたか？
- ☆おべんきょうするばしょは、かたづいていますか？
- ☆しせいやえんぴつのもちかたは、ただしいですか？



こんながくしゅうを、こんなやりかたでやってね。

| かていがくしゅうのないよう | やりかた |
|------------------------------|---|
| ①もじのれんしゅう (ひらがな、かたかな、かんじ) | ①おてほんのじのかたちをよくみて ていねいに こく かきます。 「はねる」 「はらう」に きをつけて かきましょう。 |
| ②さんすうのもんだい | ②ぷりんとや どりるの もんだいをよく よんでやりましょう。 おわったら、まちがえていないか みなおしをしましょう。 |
| ③おんどくのれんしゅう | ③こえにだしてきょうかしよをよみます。 おうちのひとに きいてもらって たくさくよめるようになりましょう。 |

もっと じぶんでやれるひとは じぶんでかんがえた がくしゅうに とりくみましょう。

※デジタルドリルをつかうようになったら、こくごとさんすうの もんだいにも とりくんでみよう。

かていがくしゅうのあとに

- ◎えんぴつを けずりましょう。
- ◎じかんわりをたしかめて あしたのじゅんびをしましょう。
(きょうかしよ ノート がくしゅうどうぐは そろえたかな?)



2年生のかてい学しゅうについて

いえの人といっしょに読みましょう。

もくひょう

- いえにかえったらすぐにしゅくだいをしましょう。
- しゅくだいがおわったら、下のかてい学しゅうをしてみましょう。
- 毎日20ぷんいじょうはがんばって学しゅうしましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

かてい学しゅうのまえに・・・

- ☆学校からのお手がみは、おうちの人にわたしましたか？
- ☆おべんきょうするばしょは、かたづいていますか？
- ☆しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか？



こんな学しゅうを、こんなやり方でやってね。

| かてい学しゅうのないう | やり方 |
|-------------|---|
| ①かん字のれんしゅう | ①かん字を1ページ書きます。 学しゅうしたかん字を見て、正しい字を書きます。読みかたやおくりがなもたしかめましょう。ていねいに書きましょう。 |
| ②さんすうのもんだい | ②プリントやドリル学習をします。もんだいをよく読んでやりましょう。 おわったら、まちがえていないか見直しをしましょう。 |
| ③音読のれんしゅう | ③声に出して きょうかしよを読みます。 おうちの人に きいてもらって 正しく 読めるようになりましょう。 |

もっと 自分でやれる人は 自分でかんがえた 学しゅうに とりくみましょう。

※デジタルドリルを使うようになったら、国語と算数の問題にも 取り組んでみよう。

かてい学しゅうのあとに・・・

- ◎えんぴつを けずりましょう。
- ◎じかんわりをたしかめて あしたのじゅんびをしてね。
(きょうかしよ ノート 学しゅうどうぐは そろえたかな?)



中学年

学習時間の目安

3年生 30分+ α

4年生 40分+ α

■こんな時期です

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

◇認めて、褒めて、励まして自信をつけ、学習に向かう◇

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。
わからない学習を手助けしていくと、少しずつ自分でできるようになります。



ポイント

①子どもの学習に関心を!

がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。

- ・わからないところは一緒に考える。
- ・子どものちょっとしたがんばりを褒める。

②学習環境について

学習を始める時間を一緒に決めましょう。

- ・学習を決められた時間に取り組めるように話し合う。テレビやゲームの時間は家族で話し合って決める。

③家庭と学校の協力

学校からのお便りを渡す習慣をつけましょう。

- ・プリント入れを作り、夕食前に渡すなど約束を決める。子どもにかかわる内容のプリントは、書かれている内容を一緒に確認する。

学年で身につけたい力

分岐点を乗り越える3年生

- ・ 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・ ことわざや熟語を知り、文にして使うことができる。
- ・ ローマ字を読み書きできる。 ・ 主語と述語の意味がわかる。
- ・ かけ算やわり算など正しい手順で計算できる。 ・ はかりを使って重さが読める。



「10歳の壁」を破る4年生

- ・ 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・ 国語辞典や漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・ 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ・ わり算の筆算ができる。 ・ 倍を使った文章題が正しくでき、数直線がかける。
- ・ コンパスや分度器を正しく使うことができる。 ・ ローマ字を適切に読み書きできる。
- ・ 地図や図鑑などを使って、場所や地名、自然環境について調べることができる。
- ・ 47都道府県の位置が分かり、正しく名前を書くことができる。

ご家庭にパソコンなどキーボードがあれば、「ローマ字入力でタイピング」する練習もしてみましょう!

3年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目 標

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 宿題がおわったら、下の家庭学習をしてみましょう。
- 毎日30分以上学習しましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

家庭学習の前に

- ☆学校からのプリントなど、家の人にわたしましたか？
- ☆勉強する場所は、かたづいていますか？
- ☆しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか？



こんな学習を、こんなやり方でやってね。

| 家庭学習のないう | やり方 |
|----------|---|
| ①漢字の練習 | ①漢字ドリルを見て、正かくに、ていねいに1行ずつ、ノートに漢字練習をしましょう。 |
| ②音読 | ②国語の教科書などを、声に出してすらすら読みましょう。 |
| ③算数の問題 | ③プリントやドリル学習をします。問題をよく読んでやりましょう。 教科書の練習問題や力だめしなどをノートにやってみましょう。見直しもしましょう。 |
| ④社会・理科 | ④教科書や授業で学習したことを、イラストなどを使ってていねいにノートにまとめましょう。また、地図や図鑑などをつかってわからないことを調べてみましょう。 |
| ⑤予習 | ⑤明日学習するところに目を通しましょう。 |

もっと自分でやれる人は 自分で考えた 学習に取り組みましょう

※デジタルドリルを使うようになったら、ドリルの問題にも取り組んでみよう。

家庭学習の後に

- ◎えんぴつを けずりましょう。
- ◎時間割をたしかめて 明日のじゅんぴをしましょう。
(教科書やノート、学習道具はそろえたかな?)



4年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目 標

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 宿題が終わったら、下の家庭学習をしてみましょう。
- 毎日40分以上学習しましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

家庭学習の前に

- ☆学校からのプリントなど、家の人にわたしましたか？
- ☆勉強する場所は、かたづいていますか？
- ☆しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか？



こんな学習を、こんなやり方でやってね。

| 家庭学習の内容 | やり方 |
|---------|---|
| ①漢字の練習 | ①漢字ドリルを見て、正かくに、ていねいに1行ずつ、ノートに漢字練習をしましょう。 |
| ②算数の問題 | ②プリントやドリル学習をします。問題をよく読んでやりましょう。ドリルはまちがえたらやり直してみましょう。 教科書の練習問題や力だめしなどをノートにやってみましょう。見直しもしましょう。 |
| ④社会・理科 | ④教科書や授業で学習したことを、イラストなどを使ってていねいにノートにまとめましょう。また、地図や図鑑などをつかってわからないことを調べてみましょう。 |
| ⑤予習 | ⑤明日学習するところに目を通しましょう。 |

もっと自分でやれる人は 自分で考えた 学習に取り組みましょう

※デジタルドリルの問題にも取り組んでみよう。

家庭学習の後に

- ◎えんぴつを けずりましょう。
- ◎時間割をたしかめて 明日の準備をしましょう。
(教科書やノート、学習道具はそろえたかな?)



高学年

学習時間の目安

5年生 50分+ α

6年生 60分+ α

■こんな時期です

○自分でできていると思っているので、言葉がけに配慮が必要です。

○得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。

○体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。

◇見守り、励ましながら自主的に学習に向かう力を伸ばす◇

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。



ポイント

①子どもの学習に関心を!

自力で学習を進められるように見守りましょう。

・子どものちょっとしたがんばりを褒める。

・他の子と比べず、昨日と比べて褒める。

②学習環境について

自分に合った生活リズムをつくりましょう。

・夕食前、早朝など、学習に取り組む時間帯を決める。

・集中できる環境を整える

③家庭と学校の協力

学校から出るプリントに目を通し、学校での活動や学習の内容について子どもと話し、共有しましょう。

・学習その他の悩みを話す機会をつくる。

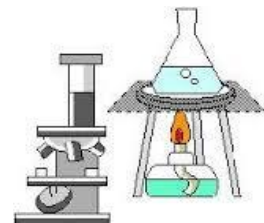
学年で身につけたい力

大きくジャンプアップする5年生



- ・ 配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・ 今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ・ 小数のかけ算・わり算ができる。 ・ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ・ 百分率を使った問題を解くことができる。 ・ パソコンでローマ字入力ができる。

中学校生活につなげる6年生



- ・ 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・ 小学校で習う漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- ・ 歴史に残る古文のいくつかを暗唱できる。
- ・ 分数のたし・ひき・かけ・わり算ができる。
- ・ 歴史上の人物や出来事について、だいたい説明できる。
- ・ 重要な年号を30程度覚える。 ・ 三権分立などの用語が説明できる。
- ・ 実験道具の正しい扱い方を知っている。 ・ パソコンで正確にローマ字入力ができる。

5年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目 標

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 宿題が終わったら、下の家庭学習をしてみましょう。
- 毎日50分以上学習しましょう。
- テレビや音楽は消しましょう。

家庭学習の前に

- ☆テレビやゲーム、音楽のスイッチは消しましたか？
- ☆勉強する場所は、きれいですか？
- ☆正しい姿勢になっていますか？



こんな学習を、こんなやり方でやってみよう。

※デジタルドリルの問題にも取り組んでみよう。

| 家庭学習の内容 | やり方 |
|------------|--|
| ①漢字の練習 | ①漢字ドリルを見て、正かくに、ていねいに1行ずつ、ノートに漢字練習をしましょう。 |
| ②算数の問題 | ②プリントやドリル学習をします。問題をよく読んでやりましょう。ドリルのまちがいはやり直しましょう。 教科書の練習問題や力だめしなどをノートにやってみましょう。見直しもしましょう。 |
| ③社会・理科 | ③教科書や授業で学習したことを、イラストなどを使ってていねいにノートにまとめましょう。 |
| ④その日の復習に挑戦 | ④その日、学習した教科書やプリントの内容を、ノートに書いてみましょう。 |
| ⑤家にある問題集 | ⑤自分の家に問題集がある場合には、それをやってみましょう。 |
| ⑥予習 | ⑥明日学習するところに目を通しましょう。 |

自分で課題を見つけて 追究する学習にも挑戦してみましょう。

家庭学習の後に

- ◎しっかり学習できたか振り返ってみましょう。（時間、内容、姿勢は?）
- ◎時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書やノート、学習道具はそろえましたか?）



6年生の家庭学習について

家の人といっしょに読みましょう。

目 標

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 宿題が終わったら、下の家庭学習をしてみましょう。
- 毎日60分以上学習しましょう。
- テレビや音楽は消しましょう。

家庭学習の前に

- ☆テレビやゲーム、音楽のスイッチは消しましたか？
- ☆勉強する場所は、きれいですか？
- ☆正しい姿勢になっていますか？



こんな学習を、こんなやり方でやってみよう。

※デジタルドリルの問題にも取り組んでみよう。

| 家庭学習の内容 | やり方 |
|------------|--|
| ①漢字の練習 | ①デジタルドリルを見て、正かくに、ていねいに1行ずつ、ノートに漢字練習をしましょう。 |
| ②算数の問題 | ②プリントやドリル学習をします。問題をよく読んでやりましょう。ドリルのまちがいはやり直しましょう。 教科書の練習問題や力だめしなどをノートにやってみましょう。見直しもしましょう。 |
| ③社会・理科 | ③教科書や授業で学習したことを、イラストなどを使ってていねいにノートにまとめましょう。 |
| ④その日の復習に挑戦 | ④その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてみよう。 |
| ⑤家にある問題集 | ⑤自分の家に問題集がある場合には、それをやってみよう。 |
| ⑥予習 | ⑥明日学習するところに目を通しましょう。 |

自分で課題を見つけて 追究する学習にも挑戦してみましょう。

家庭学習の後に

- ◎しっかり学習できたか振り返ってみましょう。（時間、内容、姿勢は？）
- ◎時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書やノート、学習道具はそろえましたか？）



中学校につながる学習を（5、6年生向け）

高学年になると中学校に向けた学習についても意識していく必要があります。ここでは、小学校と比べて中学校では何が変わるのかとその変化に向けた取り組みのポイントについて述べます。以下を参考にしてください、話し合う機会を持っていただけたらと思います。

◆教科ごとに先生が変わります◆

国語、数学、社会、理科、英語、音楽、美術、……。中学校では、教科ごとに教える先生が変わります。小学校のように、担任の先生がほとんどの教科を教えるわけではありません。よって、板書の仕方、ノートのまとめ方、宿題の出し方などが先生によって変わってきます。それぞれの先生の教え方にいかに早く慣れて対応していくかが大事です。

◆テストのやり方が変わります◆

小学校では、各教科で単元の学習が終わるたびにテストがありますが、中学校では中間テストや期末テストといった定期テストに変わります。自分の現時点での学力をはかる学力テストもあります。テストの範囲がとても広がるので、復習を中心とした日々のテスト対策がとても重要になります。

◆生活のリズムが変わります◆

中学生になると授業時間が5分長く、英語などの新しい学習が始まるだけでなく、部活動や生徒会活動もあり、学校で過ごす時間が長くなります。その分、帰宅時刻が遅くなります。小学校の時よりも疲れて家に帰ってくるが多くなると思います。そして、小学校の時には余裕のあった家庭での時間が限られたものとなってきます。その中で、学習時間の確保をしていかなければなりません。

◆基本的学習習慣を確実に身につけておきましょう◆

忘れ物や遅刻、欠席が多いと成績に影響することがあります。また、進路に関わる提出物も多くなり、期限についても厳しくなりますので注意しましょう。各教科で先生が変わりますので、読みにくい文字や数字は間違いにされることもあります。どの先生が見ても読みやすいいな字を書くことを心掛けておくことが大切です。

継続は力なり!!